

第26期東京都自然環境保全審議会第4回温泉部会

日 時 令和6年12月18日(水)午後2時～

会 場 都庁第二本庁舎31階特別会議室23

会 議 次 第

1 開 会

2 議 事

審議事項

- | | |
|-------------|-------------------|
| (1) 諮問第492号 | 羽村市羽の温泉動力の装置について |
| (2) 諮問第493号 | 中野区若宮の温泉動力の装置について |
| (3) 諮問第494号 | 中野区中野の温泉動力の装置について |
| (4) 諮問第495号 | 大島町元町の温泉掘削について |

3 閉 会

【配付資料】

資料1 第26期東京都自然環境保全審議会 温泉部会委員名簿

諮問第492号 羽村市羽の温泉動力の装置について

資料2-1 概要版

資料2-2 事業者用資料

資料2-3 許可基準の適合状況

諮問第493号 中野区若宮の温泉動力の装置について

資料3-1 概要版

資料3-2 事業者用資料

資料3-3 許可基準の適合状況

諮問第494号 中野区中野の温泉動力の装置について

資料4-1 概要版

資料4-2 事業者用資料

資料4-3 許可基準の適合状況

諮問第495号 大島町元町の温泉掘削について

資料5-1 概要版

資料5-2 事業者用資料

資料5-3 許可基準の適合状況

参考資料1 温泉に係る地盤沈下防止対策及び適正利用について

参考資料2 温泉動力の装置の許可に係る審査基準

参考資料3 温泉掘削・動力許可に関わる井戸・湧水の取扱いについて

参考資料4 東京都における温泉の許可基準に係る指定地域

第26期東京都自然環境保全審議会 温泉部会委員名簿

令和6年12月
(敬称略)

	氏名	役職名等
委員	板寺 一洋	神奈川県温泉地学研究所所長
	木川田 喜一	上智大学教授
	窪田 ひろみ	(一財)電力中央研究所サステナブルシステム 研究本部上席研究員
	○ 益子 保	益子温泉調査事務所代表
	安川 香澄	(独)エネルギー・金属鉱物資源機構特命参与
臨時委員	石田 眞	東京都公衆浴場業生活衛生同業組合理事長
	布山 裕一	流通経済大学講師

○：部会長

諮問第 4 9 2 号

羽村市羽の温泉動力の装置について

- | | | |
|---|-----|-------------|
| 1 | 申請者 | 西多摩衛生組合 |
| 2 | 目的 | 温浴施設へ供給（浴用） |
| 3 | 申請地 | 羽村市羽地内 |
| 4 | 地目 | 山林 |

□ 掘削工事の経緯

- | | |
|-----------------|--------|
| 令和 3 年 2 月 1 日 | 掘削許可処分 |
| 令和 4 年 6 月 21 日 | 掘削工事完了 |

□ 温泉の現況

- | | |
|-------|--------------------------|
| 深 度 | 1,800 メートル |
| 静 水 位 | GL-71.4 メートル |
| 動 水 位 | GL-303.8 メートル（連続揚湯試験実施時） |
| 泉 温 | 36.3 °C |
| 泉 質 | アルカリ性単純温泉 |

□ 申請する動力

- | | |
|--------|--------------------------|
| 出 力 | 13 キロワット |
| 吐出口断面積 | 19.63 平方センチメートル |
| 吐 出 量 | 104 リットル／分（全揚程 440 メートル） |

□ 揚湯量 98.2 立方メートル／日

□ 申請地周辺の状況等（図 1～3 及び写真①～③）

- | | |
|---------|---|
| 土 地 | 申請者所有 |
| 周 辺 概 況 | 既存温浴施設「フレッシュランド西多摩」に隣接。
環境センター（清掃工場）から北に約 100m。
周辺は住宅や学校等が立地する。 |

- | | |
|-----------------|----|
| 既 存 源 泉（半径 1km） | なし |
| 水道水源井等（半径 1km） | なし |
| 湧 水（半径 1km） | なし |

□ 他法令関係 特になし

□ 可燃性天然ガス対策 動力の装置後、温泉の採取の許可申請予定

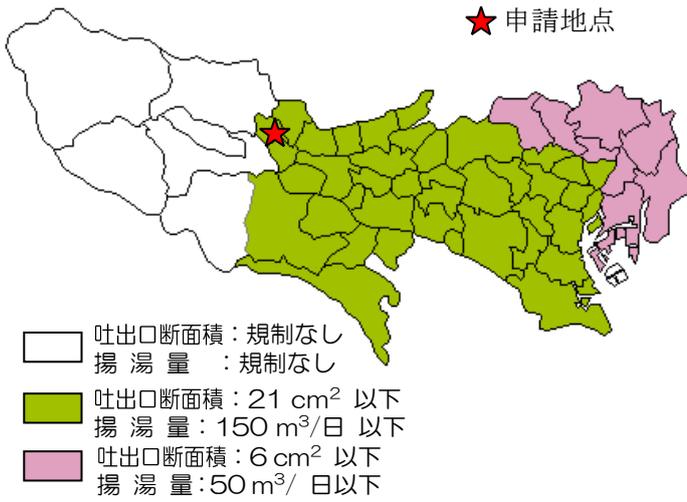


図1 申請地（広域図）

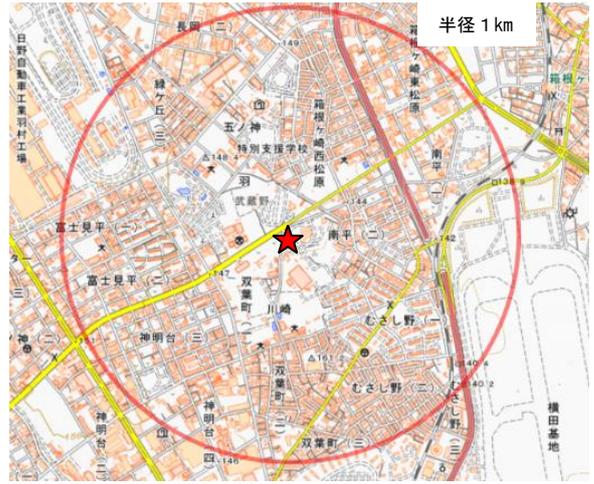


図2 周囲 1 km 付近の様子

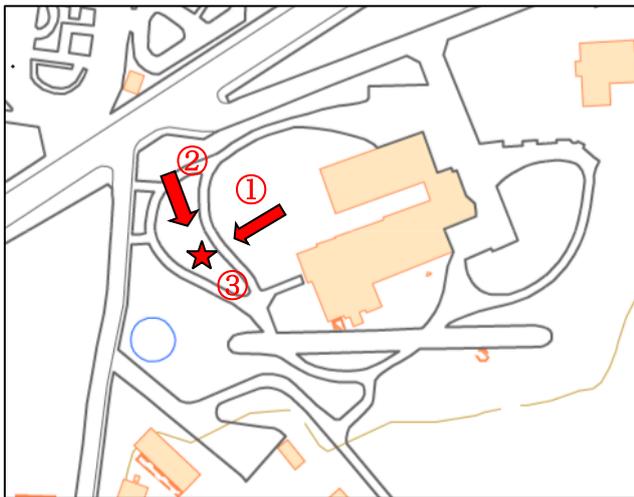


図3 詳細図（撮影方向）



① 申請地点周辺



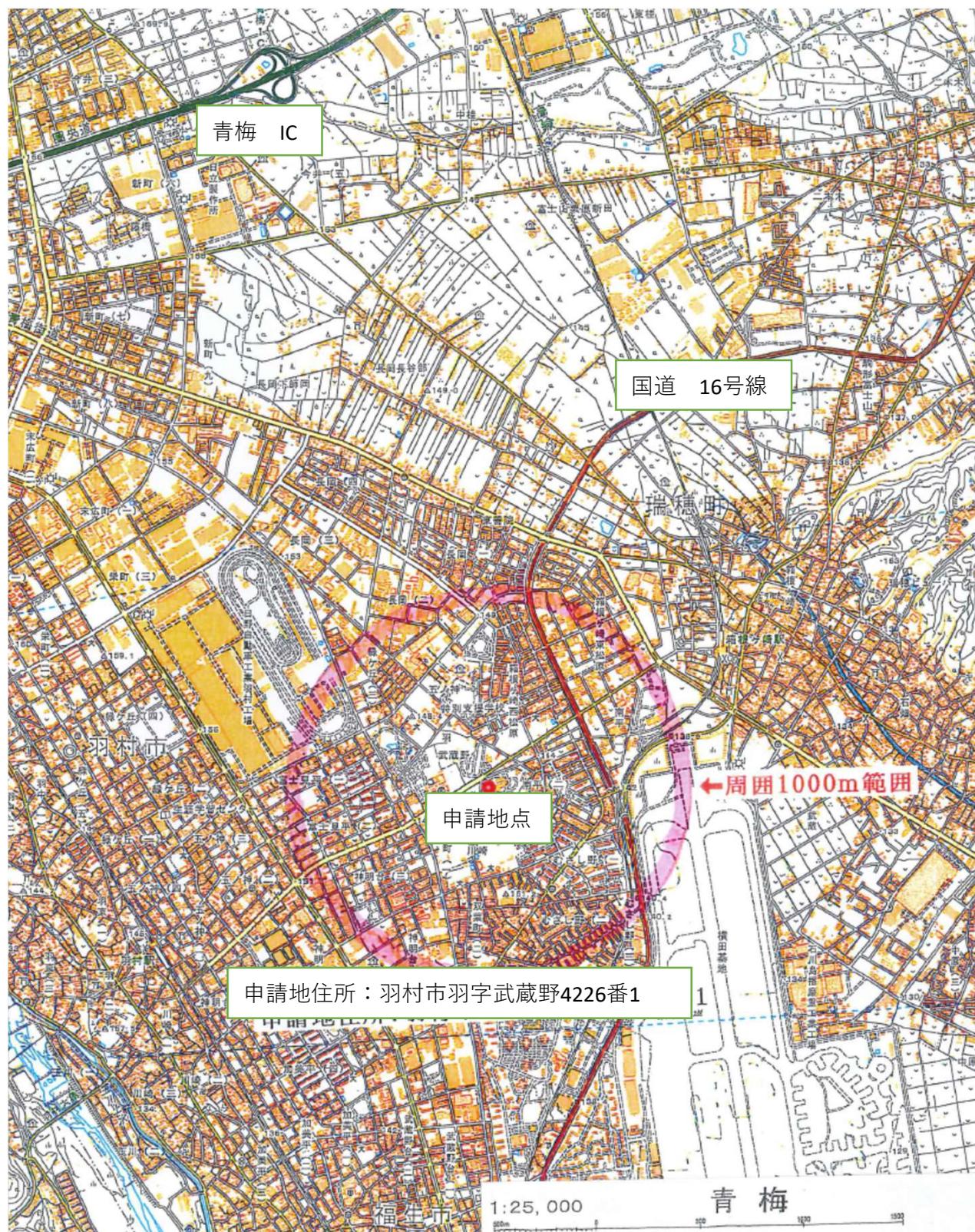
② 申請地点周辺



③ 温泉井戸

羽村市羽の温泉動力の装置について
(事業者説明資料)

1. 動力装置設置地点



2. 掘削中の周辺状況

周囲の湧水調査

周囲に湧水はありません。

掘削中の苦情等

仮設工事段階より、ボーリング櫓の周囲に防音パネルを設置した為、騒音による苦情等は、現場を通してありません。また、振動による苦情もありません。

近隣住民の対応については、掘削許可申請者により広報誌やホームページでの掘削進行状況等の発信及び進行状況の明示等を行い、開かれた工事現場を心掛けていました。

定期的に、工事現場場内に近隣住民を招き、工事の説明などを行いました。その甲斐あって、苦情等はありませんでした。

3. モニタリング計画

源泉のモニタリングは、温泉の安定供給に欠かせない工程であるため、実施します。

モニタリング内容

- ・ 温度測定・・・・・・・・熱電対を地上部送湯管に取付け、温泉制御盤に常時表示させ記録する。
- ・ 孔内水位測定・・・・・・圧力水位センサーを井戸内に設置し、温泉水位を制御盤の表示器で常時表示し、記録する。
- ・ 揚湯量測定・・・・・・ガスセパ二次側の量水器により流量を常時表示させ記録する。
- ・ 揚湯量管理・・・・・・ガスセパ一次側に取付けた流量計により、ガスセパタンク注入量を水中ポンプと連動したインバータ制御により調整し揚湯する。

モニタリングデータの測定と保存

- ・ モニタリングデータは、各種センサーで常時計測し、制御盤に設置した記録計で保存する。

異常があった際の措置

- ・ センサーで有効範囲を超えたデータを記録した際は、制御盤からの警報で分かるようにする。
- ・ 異常内容を管理員が確認し、必要な措置或いは連絡を行う事とする。

4. 温泉分析結果

温泉分析書

(鉱泉分析試験法による分析)

No. C9705002

1. 申請者

住所 東京都羽村市羽字武蔵野4228番1
氏名 西多摩衛生組合

2. 源泉名および湧出地

源泉名 (仮称)フレッシュランド西多摩温泉
湧出地 東京都羽村市羽4235番地
源泉にて採水

3. 湧出地における調査および試験成績

- ①調査及び試験者
- ②調査及び試験年月日
- ③泉温
- ④湧出量
- ⑤知覚的試験
- ⑥pH値
- ⑦電気伝導率
- ⑧ラドン(Rn)

ケー・エス環境研究所(株) [redacted]
令和4年5月26日
38.3°C (気温)28°C
140 L/分(動力揚湯)
灰色微混濁微泥炭臭(採取後24時間)
9.0
0.088 S/m
未測定

4. 試験室における試験成績

- ①試験責任者
- ②分析終了年月日
- ③知覚的試験
- ④密度
- ⑤pH値
- ⑥蒸発残留物

ケー・エス環境研究所(株) 東京支店 [redacted]
令和4年6月13日
灰色微混濁微泥炭臭(採取後24時間)
0.9988 g/cm³
9.2
574mg/kg(110°C)

5. 試料1kg中の成分:分量および組成

(1)陽イオン

成分名	ミリグラム	ミリバル	ミリバル%
水素イオン	H ⁺ 0.1 未満	0.00	0.00
ナトリウムイオン	Na ⁺ 142.5	6.20	89.98
カリウムイオン	K ⁺ 3.2	0.08	1.19
カルシウムイオン	Ca ²⁺ 3.2	0.18	2.32
マグネシウムイオン	Mg ²⁺ 0.7	0.06	0.84
アルミニウムイオン	Al ³⁺ 1.9	0.21	3.07
マンガン(II)イオン	Mn ²⁺ 0.1 未満	0.00	0.00
鉄(II)イオン	Fe ²⁺ 1.3	0.05	0.66
鉄(III)イオン	Fe ³⁺ 2.1	0.11	1.65
アンモニウムイオン	NH ₄ ⁺ 0.4	0.02	0.30
陽イオン計	155.3	6.89	100

(2)陰イオン

成分名	ミリグラム	ミリバル	ミリバル%
フッ素イオン	F ⁻ 5.2	0.27	4.10
塩素イオン	Cl ⁻ 136.2	3.84	57.46
硫化水素イオン	HS ⁻ 0.1 未満	0.00	0.00
硫化物イオン	S ²⁻ 0.1 未満	0.00	0.00
硫酸水素イオン	HSO ₄ ⁻ 0.1 未満	0.00	0.00
硫酸イオン	SO ₄ ²⁻ 2.0	0.04	0.62
メタケイ酸イオン	AsO ₄ ³⁻ 0.1 未満	0.00	0.00
炭酸水素イオン	HCO ₃ ⁻ 133.1	2.18	32.64
炭酸イオン	CO ₃ ²⁻ 10.1	0.34	5.03
水酸イオン	OH ⁻ 0.2	0.01	0.15
陰イオン計	286.8	6.89	100

(3)遊離成分

成分名	ミリグラム	ミリモル
硫酸	H ₂ SO ₄ 0.1 未満	0.00
メタケイ酸	HAsO ₄ 0.1 未満	0.00
メタケイ酸	H ₂ SiO ₄ 30.1	0.39
メタボウ酸	HBO ₃ 58.9	1.34
非揮発成分合計	89.0	1.73
遊存ガス成分		
成分名	ミリグラム	ミリモル
遊離二酸化炭素	CO ₂ 0.2	0.01
遊離硫化水素	H ₂ S 0.1 未満	0.00
遊存ガス成分合計	0.2	0.01

(4)その他の微量成分

成分名	ミリグラム
総砒素	As 0.001 未満
銅イオン	Cu 0.002
総クロム	Cr 0.004
総水銀	Hg 0.0002 未満
鉛イオン	Pb 0.001 未満
カドミウムイオン	Cd 0.001 未満
亜鉛イオン	Zn 0.008
遊存物質合計(ガスを除く)	0.531 g/kg
成分合計	0.531 g/kg

6. 泉質 アルカリ性単純温泉

(低張性・アルカリ性・温泉)

7. 禁忌症、適応症等は別表による

令和4年6月13日

(3東京都温泉分析
千葉県柏市藤籠田
ケー・エス環境研

5. 可燃性天然ガスの測定結果

水上置換法による測定を3回実施した結果、2回が基準値オーバー。
 58%LEL・45%LEL・73%LEL (基準値：50%LEL)
 安全対策が必要となります。また、温泉採取許可が必要です。

可燃性天然ガス測定結果報告書

(温泉法施行規則第6条の6第1項に係る測定調査)

No. X9705003

1.分析申請者	住所 東京都羽村市羽字武蔵野4226番1 氏名 西多摩衛生組合												
2.湧出地及び源泉名	住所 東京都羽村市羽4235番地 源泉名 (仮称)フレッシュランド西多摩温泉												
3.源泉の分析書 イ 分析書発行年月日 ロ 分析書整理番号 ハ 分析機関	令和4年6月13日 C9705002 ケー・エス環境研究所様												
4.現地における調査及び試験成績 イ 調査及び試験者 ロ 調査及び試験年月日 ハ 泉温 ニ 湧出量 ホ ガス水比 ヘ 掘湯方法	ケー・エス環境研究所様 令和4年5月26日 泉温 36.3 °C (気温 28 °C) 140 リットル/分 0.02:1(当社測定)												
ト 採用した測定方法	<table border="1"> <tr> <th>測定方法</th> <th>基準値</th> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/> 水上置換法</td> <td>50%LEL</td> </tr> <tr> <td>水上置換—ガスクロマトグラフ法</td> <td>50%LEL</td> </tr> <tr> <td>槽内空気測定法</td> <td>25%LEL</td> </tr> <tr> <td>ヘッドスペース法</td> <td>5%LEL</td> </tr> <tr> <td>予備的空気濃度測定</td> <td>—</td> </tr> </table> 水上置換法、槽内空気測定法ができなかった理由 ()	測定方法	基準値	<input checked="" type="radio"/> 水上置換法	50%LEL	水上置換—ガスクロマトグラフ法	50%LEL	槽内空気測定法	25%LEL	ヘッドスペース法	5%LEL	予備的空気濃度測定	—
測定方法	基準値												
<input checked="" type="radio"/> 水上置換法	50%LEL												
水上置換—ガスクロマトグラフ法	50%LEL												
槽内空気測定法	25%LEL												
ヘッドスペース法	5%LEL												
予備的空気濃度測定	—												
チ 測定機器のセンサ方式	<input checked="" type="radio"/> 接触燃焼式ガスセンサ(機種:XP-3118S) <input type="radio"/> その他のセンサ ガスクロマトグラフ(検出器:)												
リ 測定場所	<input checked="" type="radio"/> 温泉井戸 温泉井戸に最も近い開口部() <input type="radio"/> その他(測定場所:) (選定の理由:)												
ヌ 測定できない理由	()												
ル 現地の状況	測定の実施状況を現した写真等 別紙掲載												
ヲ 測定値	73 %LEL(基準値 50%LEL) (測定時の酸素濃度19.6%)												
ワ 所見	3回測定他の測定値(%LEL) 58(19.7)、45(20.0) ()内は測定時の酸素濃度% 基準値を超えていますので安全対策が必要です。												

令和4年6月13日

(3東京都温泉分析所
東京都中野区中央3
ケー・エス環境研

必要な対策

- 井戸元 : 井戸口元のケーシングから出るガスを放散させる。(放散管設置)
- 溶存ガス: ガス分離装置を設置し、温泉水中のガスを分離させ、貯湯タンクに送湯する。(ガスセパレーターの設置)
- 火気厳禁: 火気厳禁及び立ち入り禁止処置として、フェンス等を設置する。

羽村市羽の温泉動力の装置に係る許可基準の適合状況

□許可の基準（温泉法第4条第1項各号）

- ・温泉のゆう出量、温度又は成分に影響を及ぼさないこと（第1号）
- ・公益を害するおそれがないこと（第3号）

基準		本申請の内容
①温泉に係る地盤沈下防止対策及び適正利用について （平成17年1月17日東京都自然環境保全審議会答申） 制限距離以上を既存源泉からとること。制限距離以内に源泉が存在する場合は、揚湯量の合計が②に示される量以下であること。		制限距離：1000 m 最寄りの既存源泉からの距離は1000m以上
②温泉動力の装置の許可に係る審査基準 （平成10年7月1日東京都告示第724号） ・吐出口断面積：21 cm ² 以下 ・揚湯量：150 m ³ /日以下		吐出口断面積：19.63 cm ² 揚湯量：98.2 m ³ /日
③温泉掘削・動力許可に関わる井戸・湧水の取扱いについて （平成20年9月9日東京都自然環境保全審議会温泉部会決定）		
ア	配慮を要する井戸への影響： 周辺1 km 以内の水道水源井戸又は水道未給水地域における生活の用に供する井戸	配慮を要する井戸なし
イ	配慮を要する湧水への影響： 周辺1 km 以内で、重要な役割を持つとして区市町村が指定又は判断する湧水	配慮を要する湧水なし
<周辺自治体からの申請に対する地下水保全に関する意見> 羽村市：なし 瑞穂町：防災用井戸、事業用井戸があることから、水質に影響が出ないことを望む。		

諮問第 4 9 3 号

中野区若宮の温泉動力の装置について

- | | | |
|---|-----|-------------|
| 1 | 申請者 | 株式会社 トレジャー |
| 2 | 目的 | 公衆浴場へ供給（浴用） |
| 3 | 申請地 | 中野区若宮地内 |
| 4 | 地目 | 宅地 |

 温泉井戸の経緯

既設の地下水井戸の分析の結果、温泉に該当した。

 温泉の現況

- | | |
|-------|--------------------------|
| 深 度 | 76 メートル |
| 静 水 位 | GL-13.36 メートル |
| 動 水 位 | GL-14.75 メートル（連続揚湯試験実施時） |
| 泉 温 | 19.2 °C |
| 泉 質 | 泉質名なし（メタけい酸の項により温泉適合） |

 申請する動力

- | | |
|--------|---------------------------|
| 出 力 | 3.7 キロワット |
| 吐出口断面積 | 19.625 平方センチメートル |
| 吐 出 量 | 290 リットル／分（全揚程 32.5 メートル） |

 揚湯量 82.66 立方メートル／日 申請地周辺の状況等（図1～3及び写真①～③）

- | | |
|-----------------|------------------------------------|
| 土 地 | 申請者所有 |
| 周辺概況 | 西武新宿線野方駅から西に約 500m
周辺は住宅等が立地する。 |
| 既存源泉（半径 1km） | なし |
| 水道水源井戸等（半径 1km） | なし |
| 湧 水（半径 1km） | なし |

 他法令関係 特になし 可燃性天然ガス対策 可燃性天然ガス濃度測定の結果、基準値以下

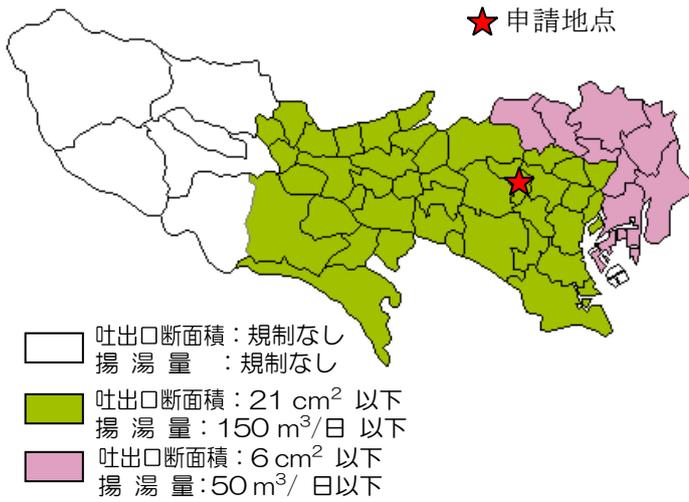


図1 申請地（広域図）

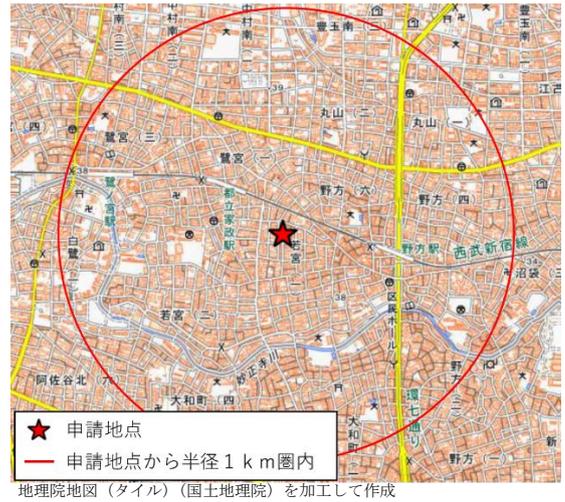
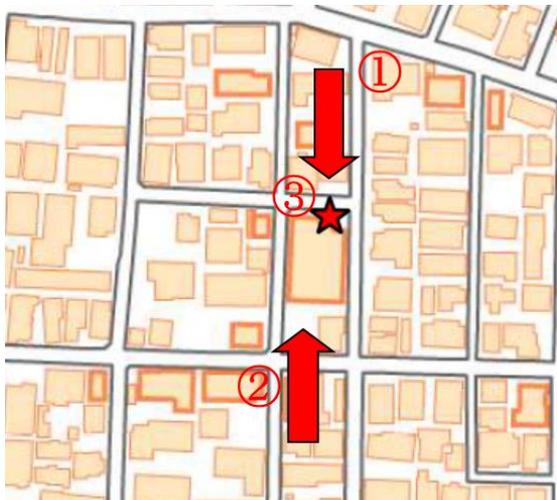


図2 周囲1 km 付近の様子



地理院地図（タイル）（国土地理院）を加工して作成

図3 詳細図（撮影方向）



①申請地点周辺



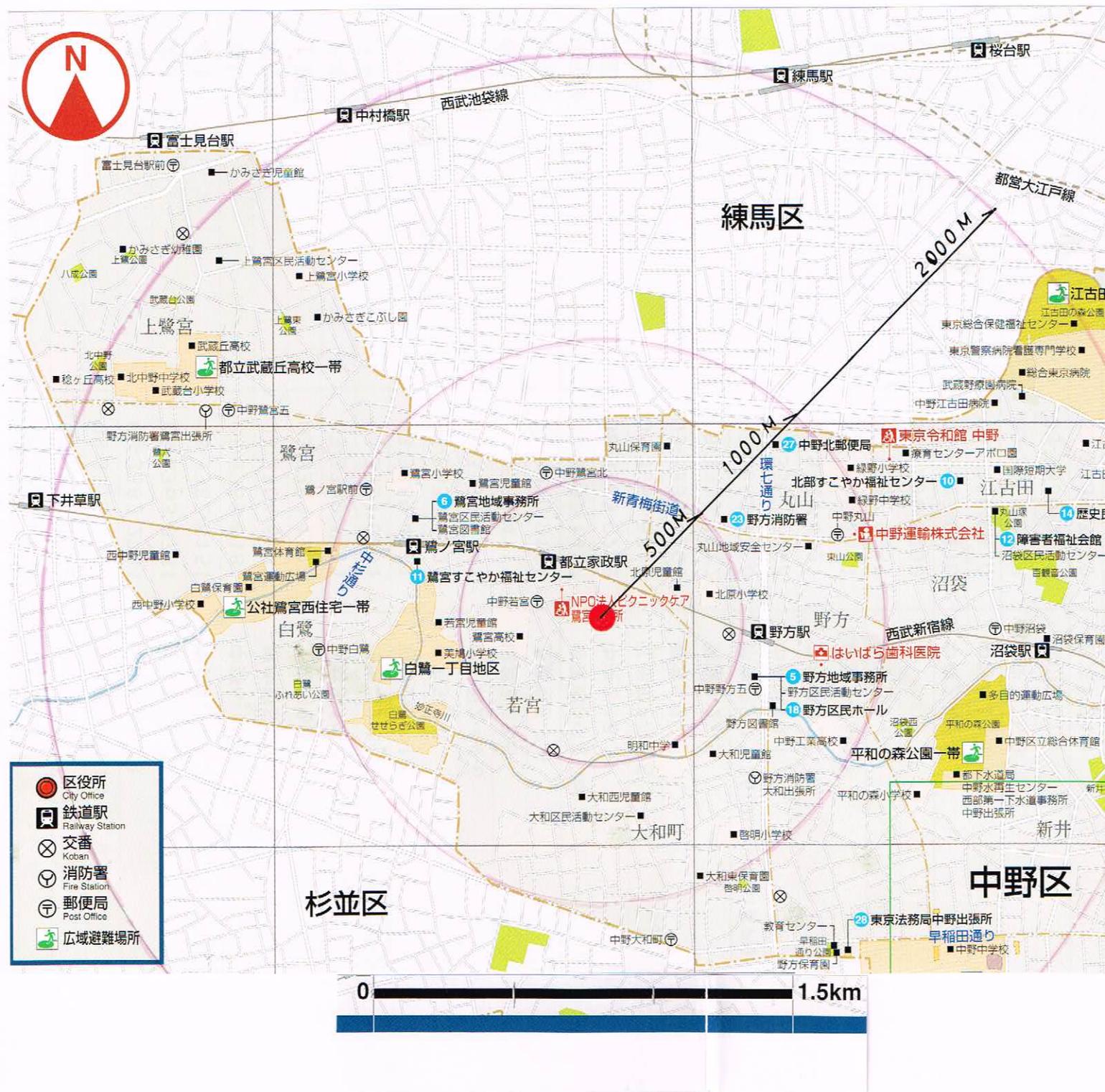
②申請地点周辺



③温泉井戸

中野区若宮の温泉動力の装置について
(事業者説明資料)

1. 動力装置設置地点



2. 掘削中の周辺状況

- ・ 平成3年に掘削済

3. モニタリング計画

- ・ 揚湯量:量水器(接線流羽根車直読式水道メーター)読み取りによる。

1回/月

- ・ 地下水位:深井戸用水位測定器による。2回/年

- ・ 温度:温度計による。2回/年

4. 温泉分析結果

温泉分析書

(鉱泉分析試験法による分析)

No. C2409003

1. 申請者 住所 東京都中野区若宮一丁目49番1号
氏名 株式会社トレジャー

2. 源泉名および湧出地 源泉名 中野若宮温泉たからゆ
湧出地 東京都中野区若宮一丁目49番1号
源泉にて採水

3. 湧出地における調査および試験成績
①調査及び試験者 ケー・エス環境研究所株 東京支店
②調査及び試験年月日 令和6年9月19日
③泉温 19.2℃ (気温)27℃
④湧出量 290 L/分(動力揚湯)
⑤知覚的試験 無色澄明無味無臭ガス発泡無
⑥pH値 7.1
⑦電気伝導率 0.03 S/m
⑧ラドン(Rn) 未測定

4. 試験室における試験成績
①試験責任者 ケー・エス環境研究所株 東京支店
②分析終了年月日 令和6年10月3日
③知覚的試験 無色澄明無味無臭(採取後24時間)
④密度 0.9989 g/cm³
⑤pH値 7.0
⑥蒸発残留物 208mg/kg(110℃)

5. 試料1kg中の成分・分量および組成

(1)陽イオン

成分名		ミリグラム	ミリバル	ミリバル%
水素イオン	H ⁺	0.1	未満	0.00
ナトリウムイオン	Na ⁺	10.5	0.46	19.17
カリウムイオン	K ⁺	1.8	0.05	1.93
カルシウムイオン	Ca ²⁺	24.6	1.23	51.53
マグネシウムイオン	Mg ²⁺	7.7	0.63	26.60
アルミニウムイオン	Al ³⁺	0.1	未満	0.00
マンガン(II)イオン	Mn ²⁺	0.1	未満	0.00
鉄(II)イオン	Fe ²⁺	0.1	未満	0.01
鉄(III)イオン	Fe ³⁺	0.1	未満	0.05
アンモニウムイオン	NH ₄ ⁺	0.3	0.02	0.70
陽イオン計		45.0	2.38	100

(2)陰イオン

成分名		ミリグラム	ミリバル	ミリバル%
フッ素イオン	F ⁻	0.1	未満	0.00
塩素イオン	Cl ⁻	17.9	0.51	22.12
硫化水素イオン	HS ⁻	0.1	未満	0.00
硫化物イオン	S ²⁻	0.1	未満	0.00
硫酸水素イオン	HSO ₄ ⁻	0.1	未満	0.00
硫酸イオン	SO ₄ ²⁻	13.0	0.27	11.86
メタ亜ヒ酸イオン	AsO ₂ ⁻	0.1	未満	0.00
炭酸水素イオン	HCO ₃ ⁻	89.7	1.47	64.38
炭酸イオン	CO ₃ ²⁻	1.1	0.04	1.57
水酸イオン	OH ⁻	0.1	未満	0.00
陰イオン計		121.8	2.28	100

(3)遊離成分
非解離成分

成分名		ミリグラム	ミリモル
硫酸	H ₂ SO ₄	0.1	未満
メタ亜ヒ酸	HAsO ₂	0.1	未満
メタケイ酸	H ₂ SiO ₃	53.7	0.69
メタホウ酸	HBO ₂	0.1	未満
非解離成分合計		53.7	0.69
溶存ガス成分			
成分名		ミリグラム	ミリモル
遊離二酸化炭素	CO ₂	0.9	0.02
遊離硫化水素	H ₂ S	0.1	未満
溶存ガス成分合計		0.9	0.02

(4)その他の微量成分

成分名		ミリグラム
総砒素	As	0.001 未満
銅イオン	Cu	0.001 未満
総クロム	Cr	0.001 未満
総水銀	Hg	0.0002 未満
鉛イオン	Pb	0.001 未満
カドミウムイオン	Cd	0.001 未満
亜鉛イオン	Zn	0.041
溶存物質合計(ガスを除く)		0.22 g/kg
成分合計		0.22 g/kg

6. 判定 温泉法第二条の別表に規定するメタケイ酸により温泉に適合する。
ただし療養泉には該当しないので泉質名はない。

7. 禁忌症、適応症等は別表による

令和6年10月3日

(3東京都温泉分析第5号
千葉県柏市篠籠田1455
ケー・エス環境研究所

5. 可燃性天然ガス測定結果報告書

可燃性天然ガス測定結果報告書

(温泉法施行規則第6条の6第1項に係る測定調査)

No. X2409003

1. 分析申請者 住所 東京都中野区若宮一丁目49番1号
氏名 株式会社トレジャー

2. 湧出地及び源泉名 住所 東京都中野区若宮一丁目49番1号
源泉名 中野若宮温泉たからゆ

3. 源泉の分析書
イ 分析書発行年月日 令和6年10月3日
ロ 分析書整理番号 C2409003
ハ 分析機関 ケー・エス環境研究所株

4. 現地における調査及び試験成績
イ 調査及び試験者 ケー・エス環境研究所株 東京支店
ロ 調査及び試験年月日 令和6年9月19日
ハ 泉温 19.2 °C (気温 27 °C)
ニ 湧出量 290 リットル/分
ホ ガス水比 未測定

へ 揚湯方法

<input type="checkbox"/>	自然湧出
<input type="checkbox"/>	掘削自噴
<input checked="" type="checkbox"/>	掘削動力揚湯(水中ポンプ)
<input type="checkbox"/>	掘削動力揚湯(エアリフト)
<input type="checkbox"/>	その他の掘削動力揚湯()

ト 採用した測定方法

測定方法	基準値
水上置換法	50%LEL
水上置換—ガスクロマトグラフ法	50%LEL
<input checked="" type="checkbox"/> 槽内空気測定法	25%LEL
ヘッドスペース法	5%LEL
予備的空気濃度測定	—
水上置換法、槽内空気測定法ができなかった理由 (源泉で発泡がみられなかったため)	

チ 測定機器のセンサ方式

<input checked="" type="checkbox"/>	接触燃焼式ガスセンサ(機種:XP-3118S)
<input type="checkbox"/>	その他のセンサ
<input type="checkbox"/>	ガスクロマトグラフ(検出器:)

リ 測定場所

<input checked="" type="checkbox"/>	温泉井戸
<input type="checkbox"/>	温泉井戸に最も近い開口部(井水槽)
<input type="checkbox"/>	その他(測定場所:)
<input type="checkbox"/>	(選定の理由:)

ヌ 測定できない理由

ル 現地の状況 測定の実施状況を現した写真等

別紙掲載

ヲ 測定値 0.0 %LEL(基準値 25%LEL) (測定時の酸素濃度21.0%)

ヰ 所見 3回測定他の測定値(%LEL) 0.0(21.0)、0.0(21.0)
()内は測定時の酸素濃度%

令和6年10月3日

(3東京都温泉分析第5号)
千葉県柏市篠籾田1455番
ケー・エス環境研究所株

中野区若宮の温泉動力の装置に係る許可基準の適合状況

□許可の基準（温泉法第4条第1項各号）

- ・温泉のゆう出量、温度又は成分に影響を及ぼさないこと（第1号）
- ・公益を害するおそれがないこと（第3号）

基準		本申請の内容
①温泉に係る地盤沈下防止対策及び適正利用について （平成17年1月17日東京都自然環境保全審議会答申） 制限距離以上を既存源泉からとること。制限距離以内に源泉が存在する場合は、揚湯量の合計が②に示される量以下であること。		制限距離：200 m 最寄りの既存源泉からの距離は200m以上
②温泉動力の装置の許可に係る審査基準 （平成10年7月1日東京都告示第724号） ・吐出口断面積：21 cm ² 以下 ・揚湯量：150 m ³ /日以下		吐出口断面積：19.625 cm ² 揚湯量：82.66 m ³ /日
③温泉掘削・動力許可に関わる井戸・湧水の取扱いについて （平成20年9月9日東京都自然環境保全審議会温泉部会決定）		
ア	配慮を要する井戸への影響： 周辺1 km 以内の水道水源井戸又は水道未給水地域における生活の用に供する井戸	配慮を要する井戸なし
イ	配慮を要する湧水への影響： 周辺1 km 以内で、重要な役割を持つとして区市町村が指定又は判断する湧水	配慮を要する湧水なし
<p><周辺自治体からの申請に対する地下水保全に関する意見></p> <p>中野区：都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に則った対応を望む。</p> <p>練馬区：特になし。</p> <p>杉並区：地下水の涵養等の点から温泉水の揚水量について配慮願いたい。</p>		

諮問第494号

中野区中野の温泉動力の装置について

- | | | |
|---|-----|-------------|
| 1 | 申請者 | 有限会社 渡辺商会 |
| 2 | 目的 | 公衆浴場へ供給（浴用） |
| 3 | 申請地 | 中野区中野地内 |
| 4 | 地目 | 宅地 |

 温泉井戸の経緯

既設の地下水井戸の分析の結果、温泉に該当した。

 温泉の現況

- | | |
|-------|--------------------------|
| 深 度 | 100 メートル |
| 静 水 位 | GL-11.15 メートル |
| 動 水 位 | GL-12.27 メートル（連続揚湯試験実施時） |
| 泉 温 | 16 °C |
| 泉 質 | 泉質名なし（メタけい酸の項により温泉適合） |

 申請する動力

- | | |
|--------|---------------------------|
| 出 力 | 5.5 キロワット |
| 吐出口断面積 | 13.59 平方センチメートル |
| 吐 出 量 | 260 リットル／分（全揚程 73.2 メートル） |

 揚湯量 90.86 立方メートル／日 申請地周辺の状況等（図1～3及び写真①～③）

- | | |
|------|-------------------------------------|
| 土 地 | 申請者所有 |
| 周辺概況 | JR 中央線中野駅から東に約 600m
周辺は住宅等が立地する。 |

- | | |
|-----------------|----|
| 既存源泉（半径 1km） | あり |
| 水道水源井戸等（半径 1km） | なし |
| 湧 水（半径 1km） | なし |

 他法令関係 特になし 可燃性天然ガス対策 可燃性天然ガス濃度測定の結果、基準値以下

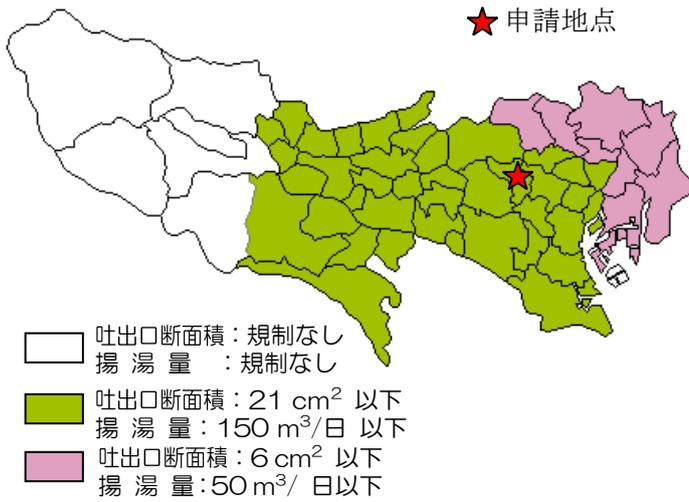
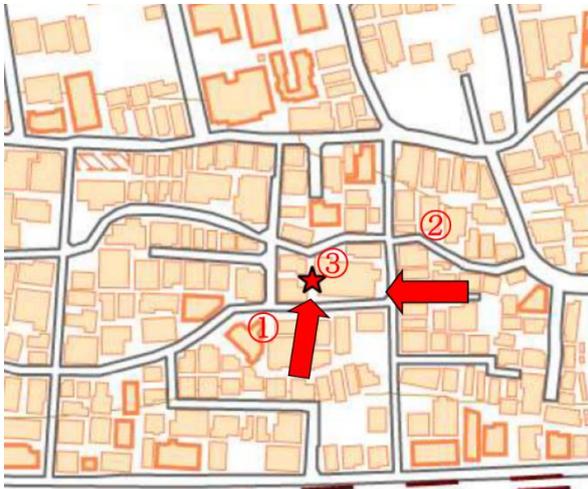


図1 申請地（広域図）



地理院地図（タイル）（国土地理院）を加工して作成

図2 周囲1 km 付近の様子



地理院地図（タイル）（国土地理院）を加工して作成

図3 詳細図（撮影方向）



①申請地点周辺



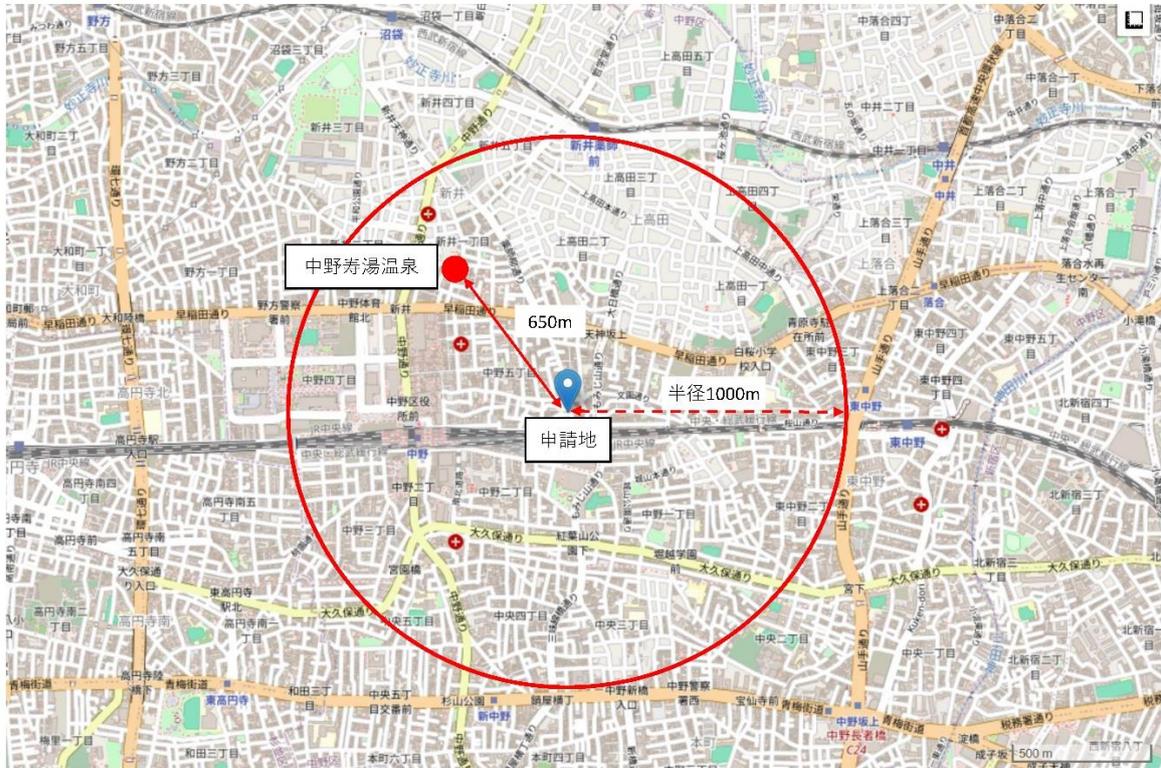
②申請地点周辺



③温泉井戸

中野区中野の温泉動力の装置について
(事業者説明資料)

1. 動力装置設置地点



2. 掘削中の周辺状況

公衆浴場（銭湯）として既に稼働中である。

3. モニタリング計画

稼働後におけるモニタリングは以下のように実施する予定である。

実施項目	手法	頻度
揚湯量	量水器による計測	週に1回
地下水位	ロープ式水位計を用いた計測	週に1回
温度	デジタル温度計による計測	週に1回

4. 温泉分析結果

第00-222072-1号

温泉分析書 (鉱泉分析試験による分析成績)

1. 申請者 東京都中野区中野5-10-10
有限会社渡辺商会

2. 源泉名及び湧出地
源泉名 大神湯
湧出地住所 東京都中野区中野5-10-10

3. 湧出地における調査及び試験成績
(1) 調査及び試験者 株式会社ミズラボ
(2) 調査及び試験年月日 2023年4月24日
(3) 泉温 16℃ (調査時の気温 18℃)
(4) 湧出量 測定せず (掘削動力湯)
(5) 知覚的試験 透明
(6) pH値 8.1
(7) 電気伝導率 31.3 mS/m (16.5℃)

4. 試験室における試験成績
(1) 試験者 株式会社ミズラボ
(2) 試験開始年月日 2023年4月24日
(3) 試験終了年月日 2023年5月12日
(4) 知覚的試験 無色透明 (試料採取後1時間)
(5) 密度 1.004 (20℃/4℃)
(6) pH値 8.09 (ガラス電極法)
(7) 蒸気残留物 0.34 g/kg (110℃)

5. 試料1kg中の成分、分量及び組成(鉱泉分析試験による定量)

(1) 陽イオン

成分	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)
ナトリウムイオン (Na)	12.5	0.54	13.98
カリウムイオン (K)	3.9	0.10	2.59
アンモニウムイオン (NH ₄ ⁺)	0.1	0.01	0.18
マグネシウムイオン (Mg ²⁺)	13.2	1.09	27.87
カルシウムイオン (Ca ²⁺)	43.2	2.15	55.27
マンガンイオン (Mn ²⁺)	0.1	0.00	0.10
アルミニウムイオン (Al ³⁺)	0.1未満	0.00	0.00
陽イオン計	73.1	3.90	100.00

(2) 陰イオン

成分	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)
フッ素イオン (F)	0.02	0.00	0.03
塩化物イオン (Cl ⁻)	29.1	0.82	19.53
臭化物イオン (Br ⁻)	0.1未満	0.00	0.00
亜硝酸イオン (NO ₂ ⁻)	0.1未満	0.00	0.00
硝酸イオン (NO ₃ ⁻)	0.06	0.00	0.02
硫酸イオン (SO ₄ ²⁻)	36.4	0.76	18.05
炭酸水素イオン (HCO ₃ ⁻)	138.9	2.28	54.18
炭酸イオン (CO ₃ ²⁻)	10.3	0.34	8.19
陰イオン計	214.8	4.20	100.00

(3) 遊離成分
ア 非解離成分

成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
メタケイ酸 (H ₂ SiO ₃)	60.1	0.77
メタホウ酸 (H ₃ BO ₃)	0.1未満	0.00
非解離成分計	60.1	0.77

イ 溶存ガス成分

成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
遊離二酸化炭素 (CO ₂)	29.6	0.67
遊離硫化水素 (H ₂ S)	0.1未満	0
溶存ガス計	29.6	0.67

溶存物質(ガス性のものを除く) (1)+(2)+(3)ア: 0.35 g/kg
成分総計 (1)+(2)-(3)ア、イ: 0.38 g/kg

(4) その他の微量成分
総水銀 0.0005未満 mg/kg 亜鉛 0.08 mg/kg
総ヒ素 0.005未満 mg/kg 鉛 0.05未満 mg/kg
銅 0.05未満 mg/kg カドミウム 0.01未満 mg/kg
鉄 0.06 mg/kg 全クロム 0.01未満 mg/kg

6. 判定 温泉法第二条の別表に規定するメタケイ酸(H₂SiO₃)の項目により温泉に適合する。
ただし療養泉には該当しないので泉質名はない。

7. 禁忌症、適応症等 「温泉分析書別表」に記載する。

温泉分析登録機関 27東京都温泉分析第4号
登録分析機関 株式会社ミズラボ

2023年5月15日
東京都墨田区向島五丁目35番12号
株式会社ミズラボ

5. 可燃性天然ガス測定結果報告書



気第443号

可燃性天然ガス測定結果報告書 (温泉法施行規則第6条の6第1項に係る測定調査)

1. 分析申請者 住所 東京都中野区中野5-10-10
氏名 有限会社渡辺商会
2. 湧出地及び源泉名 湧出地 東京都中野区中野5-10-10
源泉名 天神湯
3. 源泉の温泉分析書 (イ)温泉分析書発行年月日 2023年5月15日
(ロ)温泉分析書整理番号 第00-222072-1号
(ハ)分析機関名 株式会社ミズラボ

4. 現地における調査及び試験成績
- (イ)調査及び試験者 公益財団法人中央温泉研究所 [REDACTED]
- (ロ)調査及び試験年月日 令和6年5月28日
- (ハ)泉温 16.9℃(気温24℃)
- (ニ)湧出量 130リットル/分
- (ホ)ガス水比 不明(温泉付随ガスの気泡が確認できない)
- (ヘ)揚湯方法

<input type="checkbox"/>	自然湧出
<input type="checkbox"/>	掘削自噴
<input checked="" type="checkbox"/>	掘削動力揚湯(水中ポンプ)
<input type="checkbox"/>	掘削動力揚湯(エアリフト)
<input type="checkbox"/>	その他の掘削動力揚湯()

(ト)採用した測定方法

測定方法	基準値	
<input type="checkbox"/>	水上置換法	50 %LEL
<input type="checkbox"/>	水上置換-ガスクロマトグラフ法	50 %LEL
<input type="checkbox"/>	槽内空気測定法	2.5 vol.%
<input checked="" type="checkbox"/>	ヘッドスペース法	25 %LEL
<input type="checkbox"/>	予備的空気濃度測定	5 %LEL
<input type="checkbox"/>	予備的空気濃度測定	-

水上置換法、槽内空気測定法ができなかった理由:
ガスの気泡が確認できない上、貯湯槽が密閉構造となっていないため。

(チ)測定場所

<input checked="" type="checkbox"/>	温泉井戸
<input type="checkbox"/>	温泉井戸に最も近い開口部
<input type="checkbox"/>	()
<input type="checkbox"/>	その他(測定場所:)
<input type="checkbox"/>	選定の理由:

(ツ)測定機器のセンサ方式

<input checked="" type="checkbox"/>	接触燃焼式可燃性ガスセンサ
<input type="checkbox"/>	(機種:新コスモス電機株式会社製XP-3110)
<input type="checkbox"/>	その他のセンサ()
<input type="checkbox"/>	ガスクロマトグラフ(検出器:)

(テ)測定できない理由

<input type="checkbox"/>	()
--------------------------	-----

(ト)現地の状況

測定の実施状況を現した写真等



(ツ)測定値: ヘッドスペース法 0 %LEL (基準値) 5 %LEL

(チ)所見 (ツ)以外の2回の測定値はいずれも0%LELであった。
本温泉は相当量の可燃性ガスを含んでいない。

令和6年6月11日

登録番号 14 健地衛
東京都北区滝野川三丁目
公益財団法人 中央温泉 [REDACTED]

中野区中野の温泉動力の装置に係る許可基準の適合状況

□許可の基準（温泉法第4条第1項各号）

- ・温泉のゆう出量、温度又は成分に影響を及ぼさないこと（第1号）
- ・公益を害するおそれがないこと（第3号）

基準		本申請の内容
①温泉に係る地盤沈下防止対策及び適正利用について （平成17年1月17日東京都自然環境保全審議会答申） 制限距離以上を既存源泉からとること。制限距離以内に源泉が存在する場合は、揚湯量の合計が②に示される量以下であること。		制限距離：200 m 最寄りの既存源泉からの距離は200m以上
②温泉動力の装置の許可に係る審査基準 （平成10年7月1日東京都告示第724号） ・吐出口断面積：21 cm ² 以下 ・揚湯量：150 m ³ /日以下		吐出口断面積：13.59 cm ² 揚湯量：90.86 m ³ /日
③温泉掘削・動力許可に関わる井戸・湧水の取扱いについて （平成20年9月9日東京都自然環境保全審議会温泉部会決定）		
ア	配慮を要する井戸への影響： 周辺1 km 以内の水道水源井戸又は水道未給水地域における生活の用に供する井戸	配慮を要する井戸なし
イ	配慮を要する湧水への影響： 周辺1 km 以内で、重要な役割を持つとして区市町村が指定又は判断する湧水	配慮を要する湧水なし
<p><周辺自治体からの申請に対する地下水保全に関する意見></p> <p>中野区：都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に則った対応を望む。</p> <p>新宿区：特になし。</p>		

諮問第 4 9 5 号

大島町元町の温泉掘削について

- | | | |
|---|-----|----------------|
| 1 | 申請者 | SanouFact 株式会社 |
| 2 | 目的 | 新規温浴施設へ供給（浴用） |
| 3 | 申請地 | 大島町元町地内 |
| 4 | 地目 | 山林 |

 掘削工事

- | | |
|---------|---------------------|
| ゆう出路の口径 | 199.9 ～151.0 ミリメートル |
| ゆう出路の深度 | 300 メートル |
| 施工方法 | ロータリー式掘削 |

 利用計画（予定）

- | | |
|------|----------------|
| 施設概要 | 宿泊施設 |
| 揚湯量 | 328.9 立方メートル／日 |

 申請地周辺の状況等（図 1 ～ 3 及び写真①～③）

- | | |
|------|---|
| 土地 | 温泉掘削について土地所有者の承諾済 |
| 周辺概況 | 大島町元町港から北に約 1.75 km。大島西側海岸沿いの道路に隣接。周辺は主に山林と住宅がある。 |

- | | |
|-----------------|----|
| 既存源泉等（半径 1km） | あり |
| 水道水源井戸等（半径 1km） | なし |
| 湧水（半径 1km） | なし |

 他法令関係

特になし

 可燃性天然ガス対策

敷地境界から 8 メートル以上の離隔距離を確保する。



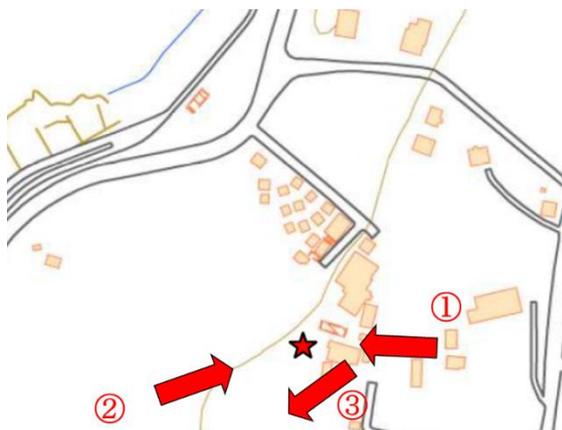
地理院地図（タイル）（国土地理院）を加工して作成

図1 申請地（広域図）



地理院地図（タイル）（国土地理院）を加工して作成

図2 周囲1 km 付近の様子



地理院地図（タイル）（国土地理院）を加工して作成

図3 詳細図（撮影方向）



①申請地点



②申請地点周辺

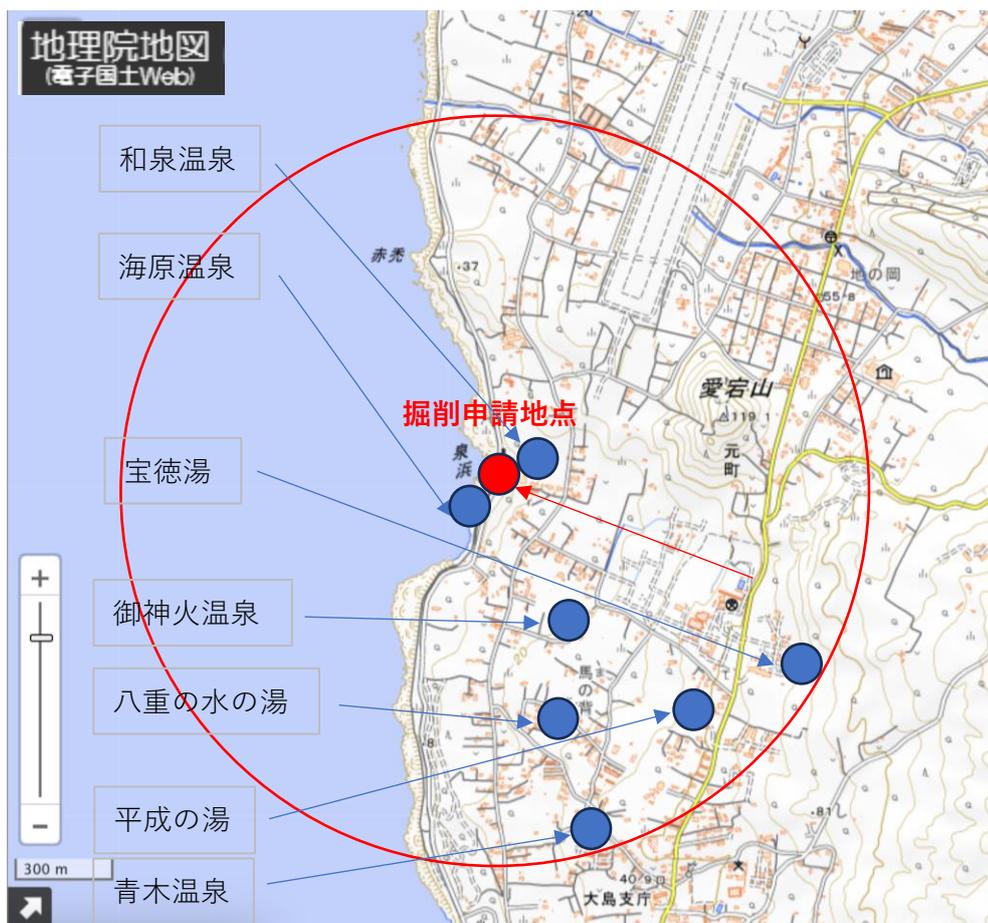


③申請地点周辺

大島町元町の温泉掘削について
(事業者説明資料)

●掘削地点

住所： 〒100-0101 東京都大島町元町字和泉106番3



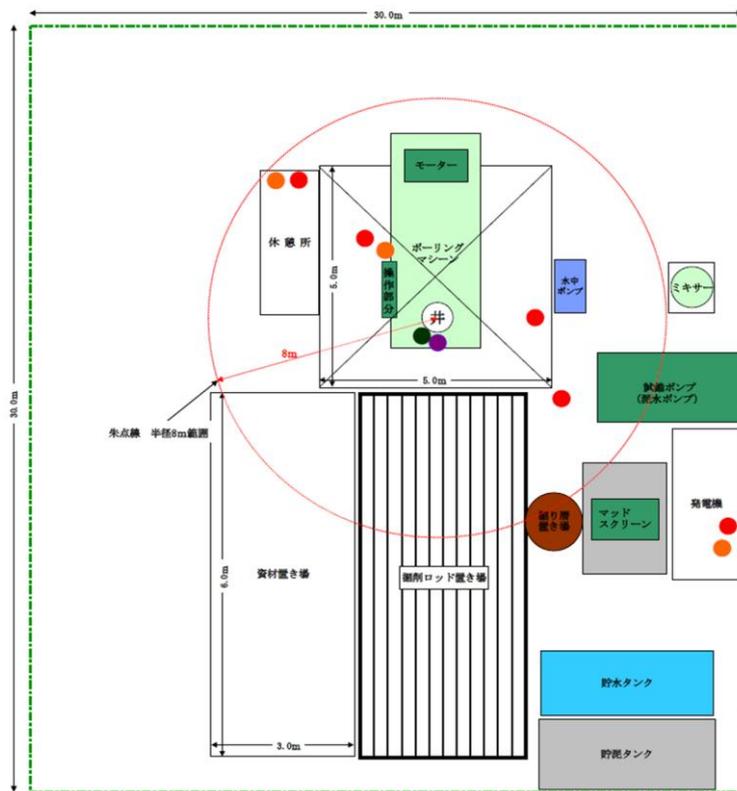
●掘削目的

宿泊施設施設（ヴィラ）における浴用に供するため。

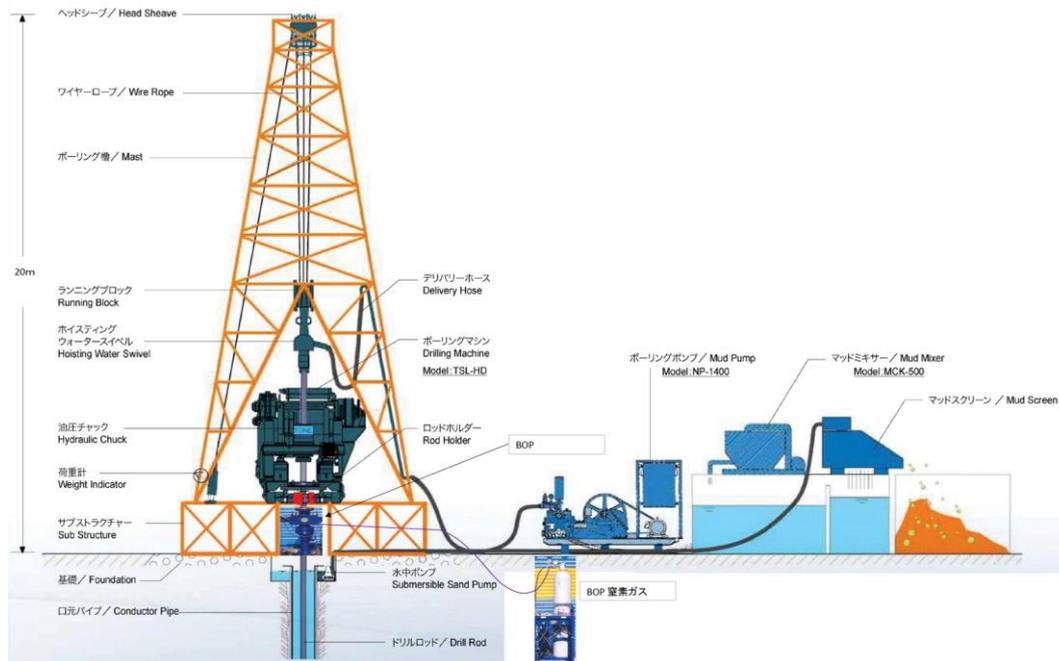
● 施工計画

(1) 可燃性天然ガス対策

掘削設備配置図



- ※ ● 消火器配置
- ※ ● 火気使用禁止掲示板
- ※ ● 携帯型可燃性ガス測定器配置
- ※ ● 日常可燃性ガス測定場所
- ※ --- 作業エリア (仮設フェンス)
- ※ ● 測定記録・災害防止規定保管場所
- ※ ● 警報設備設置箇所



(2) 環境対策等

・ 廃棄物の処理

排泥水、掘屑、汚水（泥土）については現地にて造粒固化材等を使用し脱水処理を行い。現地敷き均しを行う。

・ 騒音振動等公害対策と近隣への対応

低公害型機器を使用する、日曜祝日は休工期とする。

事前に周辺住民への工事内容を説明し理解を得る。

・ 関係法令・関係機関との協議

特になし

・ その他施工に関する対応について

許認可を必要とするものはない

(3) 揚湯試験

予備揚湯試験、段階揚湯試験、連続揚湯試験、回復試験を実施する。

事前に周辺温泉の泉質を確認する。

掘削完了後、井戸仕上げ段階で孔内水の水質分析を行い

水濁法の水質以下であること確認する。

排水は既存施設の排水路を使用する。

●近隣への事前説明結果

以下の近隣住民(掘削地点より半径 60m 以内の方)に説明に行った。

訪問し、不在の方には添付書面をポストイングし、不明点があった場合は問合せ先(電話番号やメールアドレス)に御連絡いただき、それに対し電話で説明した。

該当者及び報告状況は以下である。

- ・ A氏 2024/9/24 不在のためポストイング済み 質疑応答なし
- ・ B氏 2024/9/24 説明済み 質疑応答なし
(息子さんから連絡を頂き、電話で説明した。)
- ・ C氏 2024/9/24 不在のためポストイング済み 質疑応答なし
- ・ D氏 2024/9/24 不在のためポストイング済み 質疑応答なし

●ポスティング資料

可燃性天然ガスの噴出防止対策等について

SanouFact 株式会社はグランピング施設で温泉を使用するために、
温泉掘削許可申請を行う予定である。

それに伴い、可燃性天然ガスの噴出防止に努めて参ります。
以下、掘削工事詳細となります。

掘削予定地点:〒100-0101 東京都大島町元町字和泉 108-1

工事期間:2025/1/10-2025/12/30

工事時間帯:8:00-17:00

工事の搬入経路:サンセットパームラインより搬入予定

やぐら:鋼製四足やぐら

ご不明な点などございましたら。

当社まで連絡くださいますようお願い申し上げます。

SanouFact 株式会社 Tel: [REDACTED]

Mail: [REDACTED]

大島町元町の温泉掘削に係る許可基準の適合状況

□許可の基準（温泉法第4条第1項各号）

- ・温泉のゆう出量、温度又は成分に影響を及ぼさないこと（第1号）
- ・公益を害するおそれがないこと（第3号）

基準		本申請の内容
①温泉に係る地盤沈下防止対策及び適正利用について （平成17年1月17日東京都自然環境保全審議会答申） 制限距離以上を既存源泉からとること。制限距離以内に源泉が存在する場合は、揚湯量の合計が②に示される量以下であること。		指定地域外
②温泉動力の装置の許可に係る審査基準 （平成10年7月1日東京都告示第724号） ・指定地域外		328.9m ³ /日
③温泉掘削・動力許可に関わる井戸・湧水の取扱いについて （平成20年9月9日東京都自然環境保全審議会温泉部会決定）		
ア	配慮を要する井戸への影響： 周辺1km以内の水道水源井戸又は水道未給水地域における生活の用に供する井戸	配慮を要する井戸なし
イ	配慮を要する湧水への影響： 周辺1km以内で、重要な役割を持つとして区市町村が指定又は判断する湧水	配慮を要する湧水なし
<周辺自治体からの申請に対する地下水保全に関する意見> 大島町：特になし。		

- ・可燃性天然ガスによる災害防止に関する基準に適合していること（第2号）

基準		本申請の内容
温泉法施行規則第1条の2各号		
ア	掘削口から敷地境界線までの水平距離が3 m以上であること (規則1条の2第1号)	水平距離 3 m以上
イ	火気を使用する設備を設置しないこと 火気を使用する作業をしないこと 火気の使用を禁止する旨を掲示すること (規則1条の2第2号)	火気設備を設置しない 火気作業(※)をしない 火気禁止を掲示する ※ケーシング設置時の溶接作業を除く
ウ	掘削口から水平距離8 mの範囲内で、関係者以外の立入りを制限すること (規則1条の2第3号)	周囲にフェンスを設置し、立入りを制限する
エ	携帯型のガス測定器及び消火器を備えていること (規則1条の2第4号)	ガス測定器及び消火器を備え置く
オ	噴出防止装置及び警報設備を設置すること (規則1条の2第5号、第6号)	噴出防止装置：ラム型 検知器は掘削口直上に設置、25%LELで発報
カ	毎日1回以上、掘削口の周辺のメタンの濃度を測定し保存すること (規則1条の2第7号、第9号)	毎作業日、メタンの濃度を測定し保存する
キ	掘削に係る災害防止規定を作成し、掘削の場所に備え置くこと (規則1条の2第10号)	現場事務所に備え置く
ク	災害その他の非常の場合には、「キ」の規定に従って必要な措置を行うこと (規則1条の2第11号)	必要な措置を行う

温泉に係る地盤沈下防止対策及び適正利用について

平成17年1月17日 東京都自然環境保全審議会 答申

1 温泉の許可基準

温泉動力の装置の許可に係る審査基準（平成10年7月1日付東京都告示第724号）（以下「審査基準」という。）の指定地域において、温泉を掘削する場合は、地盤沈下の防止及び源泉間の相互影響への配慮の観点から、既存源泉と新規源泉の深度を比較して深い方の深度に対応した下記の制限距離以上を既存源泉からとること。

掘削深度	制限距離
500mを超える	1,000m
200mを超え500m以下	500m
200m以下	200m

ただし、既存源泉がこれらの制限距離以内に存在する状況においても、既存源泉と新規源泉の揚湯量の合計が、審査基準に規定された量以下であることを確認できる書面を提出できる場合はこの限りでない。

2 個人利用に対する指導基準

(1) 集合住宅での各戸給湯利用

源泉の一日あたりの揚湯量が、審査基準に規定された量を超えない範囲において、一世帯の一日あたりの揚湯量を0.5立方メートル以下とすること。

(2) 戸建住宅での給湯利用

一日あたりの揚湯量を10立方メートル以下とし、浴槽容量及び利用実態に応じた適正な揚湯量とすること。

3 温泉に関する情報の収集及び適正管理の検討

(1) 温泉を掘削しようとする者に対して、掘削地点の地質及び地下水に関する、更なる調査の実施と結果の報告を求めること。

(2) 報告を受けた資料を整理、解析し、温泉の適正管理に関する検討を継続して行うこと。

温泉動力の装置の許可に係る審査基準

平成10年 7月 1日 (東京都告示第 724号)
最終改正 平成20年10月24日 (東京都告示第1339号)

地盤沈下防止の観点から、温泉法(昭和23年法律第125号)第11条第3項により準用する同法第4条第1項の規定に基づく動力装置の許可に係る審査基準を次のとおり定める。

	指定地域	吐出口断面積	一日の揚湯量
1	墨田区 江東区 北区 荒川区 板橋区 足立区 葛飾区 江戸川区	6平方センチメートル 以下	50立方メートル 以下
2	東京都の区域のうち、1に掲げる区域、八王子市の一部(一般国道411号線との交点以北の都道檜原あきる野線、その交点から一般国道20号線との交点(八王子市高尾町)までの都道八王子あきる野線、その交点から都道八王子町田線との交点までの一般国道20号線及びその交点以南の都道八王子町田線以西の区域)、青梅市、あきる野市、西多摩郡日の出町、同郡檜原村、同郡奥多摩町及び島しょ地区を除く区域	21平方センチメートル 以下	150立方メートル 以下

備考 揚湯の状況について、水量測定器及び水位計により確認できること。

温泉掘削・動力許可に関わる井戸・湧水の取扱いについて

平成20年9月9日 東京都自然環境保全審議会温泉部会決定

東京都自然環境保全審議会において審査を行う際、申請のあった地点の周囲の状況についての情報として活用するための井戸・湧水の取扱いについて、次のとおり整理する。

1 基本的な考え方

井戸、湧水があることについては、直ちに温泉法で規定されている温泉掘削が公益を害するおそれがあると認めることはできず、許可基準には抵触しない。

井戸、湧水の存在については、審査の参考として資料に記載するものである。

申請者が、許可申請時に周辺状況として必要な井戸、湧水を自ら把握するよう指導しているが、行政としても、申請者の内容を確認する上で、関係機関に照会する。

2 井戸

(1) 配慮を要する井戸

- ・申請地点の周囲1000m内にある水道事業体の水源井戸
- ・申請地点の周囲1000m内にある水道の供給を受けていない地域(未給水地域)内の生活の用に供する井戸

(2) 井戸の把握方法

申請地点に水道を供給する水道事業体に対し、文書で照会し、回答を求める。

3 湧水

(1) 配慮を要する湧水

- ・申請地点の周囲1000m内にある地域の環境の保全のため重要な役割をもつ湧水として、区市町村が地域指定又は判断している湧水

(2) 湧水の把握方法

配慮を要する湧水の有無について、区市町村に対し文書で照会し、回答を求める。

4 配慮を要する井戸、湧水への対応

(1) 温泉部会

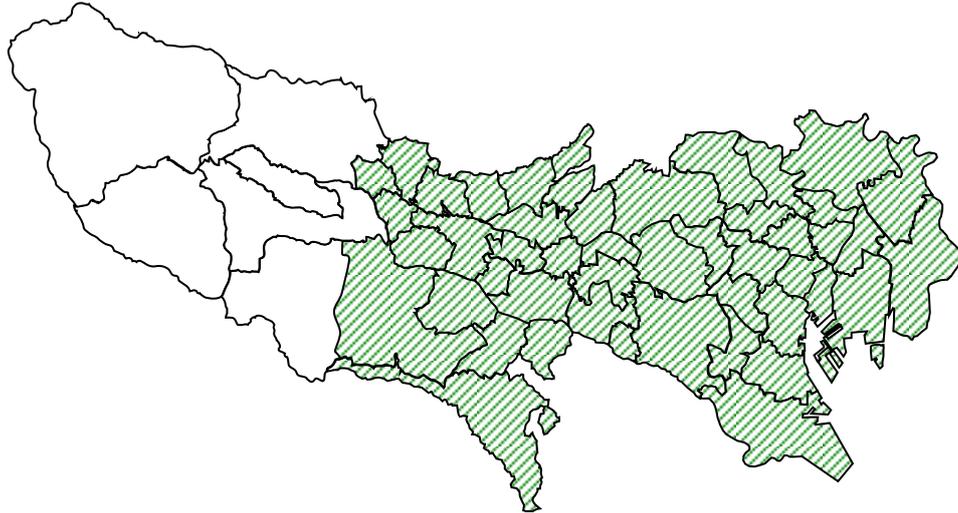
申請された温泉掘削・動力許可が、配慮を要する井戸、湧水に対し影響を及ぼすおそれがあるか検討する。

(2) 申請者への指導

温泉部会の検討結果を踏まえ、申請者に対して、配慮を要する井戸、湧水の管理者等と温泉掘削・動力設置の情報及び井戸、湧水に対する影響の把握について話し合うよう指導し、その結果について報告を求める。

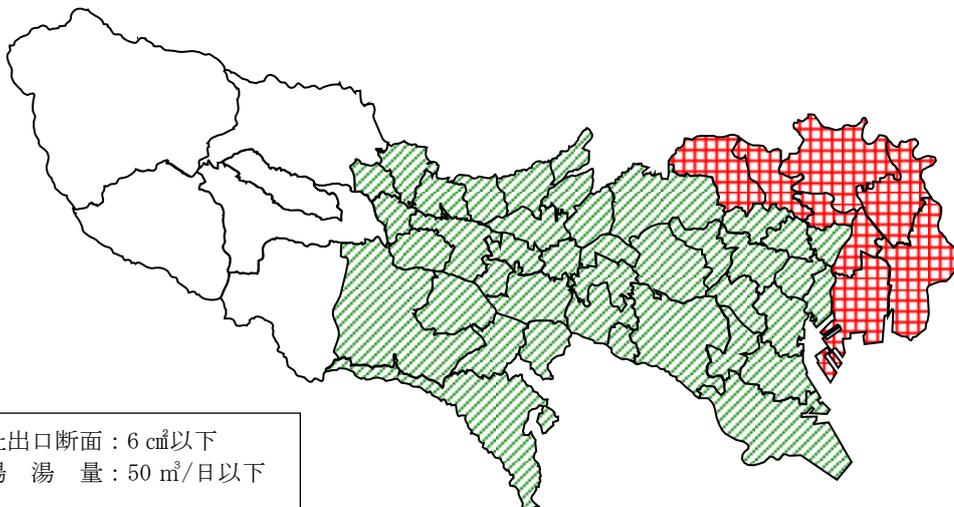
東京都における温泉の許可基準に係る指定地域

- 1 可燃性天然ガスの噴出のおそれがある場合の地域 (平成 20 年 10 月 1 日告示 1223 号)
掘削深度に制限距離を適用する地域 (平成 17 年 1 月 17 日 東京都自然環境保全審議会答申)



	可燃性天然ガスの噴出のおそれがある場合の地域、制限距離規制適用地域		規制なし (島しょ含む)
<p>東京都の区域のうち、八王子市の一部(一般国道 411 号線との交点以北の都道檜原あきる野線、その交点から一般国道 20 号線との交点(八王子市高尾町)までの都道八王子あきる野線、その交点から都道八王子町田線との交点までの一般国道 20 号線及びその交点以南の都道八王子町田線以西の区域)、青梅市、あきる野市、西多摩郡日の出町、同郡檜原村、同郡奥多摩町及び島しょ地区を除く区</p>			

- 2 温泉動力の装置の許可に係る審査基準 (平成 10 年 7 月 1 日 告示第 724 号)



	吐出口断面：6 cm^2 以下 揚湯量：50 m^3 /日以下
	吐出口断面：21 cm^2 以下 揚湯量：150 m^3 /日以下
	規制なし (島しょも含む)